

平成 20 年 7 月 3 日
株式会社オールアバウト

オールアバウト【会員のマネーリテラシー調査】 「お金の専門家」への相談は 55.9%が興味・意向あり 相談内容は「お金の増やし方(投資)」が約 6 割と高い

総合情報サイト「All About」を運営する株式会社オールアバウト(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO:江幡 哲也、ジャスダック証券取引所、証券コード:2454、以下「オールアバウト」)はインターネット調査会社「マクロミル」のモニター(30歳~59歳の会社員、年収500万以上)を対象に「投資とお金の専門家についてのアンケート」を実施しました。

■総括

今回、投資をしている人としていない人、それぞれの意識を調査したところ、投資しない理由としては「余裕資金が無い」が6割、続いて「損をするのが怖い」(55.0%)となりました。一方で、投資を始めた人に投資をして利益以外に良かったことを聞いたところ、「知識の幅が広がった」が約7割、「社会の仕組みや経済に興味を持つようになった」が約6割となりました。

「お金の専門家」への相談は「興味はある」が40.1%、「機会があれば相談したい」が15.8%、相談内容では「お金の増やし方(投資)」(60.2%)や「ライフプラン」(56.7%)、「老後や年金」(54.7%)などがあげられました。

■調査結果のポイント

1) 投資の情報源はインターネットとマネー雑誌が中心

現在、投資している人の投資のきっかけとなった情報源としては「インターネット」(37.8%)や「マネー雑誌」(26.3%)が高い。また運用の際では「インターネット」(69.8%)、「新聞」(43.1%)や「マネー雑誌」(38.2%)が高い。新しい金融商品を検討する際も「インターネット」が65.3%、「マネー雑誌」は39.3%と高くなっている。

2) 投資をして良かった事は「知識の幅が広がった」が約7割、投資をしない理由は「資金が無い」と「損が怖い」

投資をして利益以外に良かったことは約7割が「知識の幅が広がった」と回答し、「社会の仕組みや経済に興味を持つようになった」(60.3%)も高くなっている。一方で投資をしていない人がその理由として「余裕資金が無い」(63.7%)、「損をするのが怖い」(55.0%)をあげた。さらに、老後や退職後の経済的な準備について尋ねたところ、「必要だと思うが何をしたいかわからない」という人が多い(35.7%)ものの、投資をしている人では「準備をしている」が35.1%と最も高くなっている。

3) お金の専門家への相談は 55.9%が興味・意向があり、相談内容は「お金の増やし方(投資)」が6割

ファイナンシャルプランナーなどのお金の専門家への相談意向では、「相談したことはないが、興味はある」が4割、「相談したことはないが、機会があれば相談したい」(15.8%)と合計すると55.9%に興味・意向があることがわかった。相談内容は「お金の増やし方(投資)」(60.2%)や「ライフプランの立て方」(56.7%)、「老後や年金」(54.7%)などが高くなっている。一方で相談していない理由として、「相談費用が高そう」(39.8%)、「どこで相談したらいいかわからない」(35.8%)などがあげられた。

■「All About」編集長 森川さゆり のコメント

「お金の専門家」への相談意向や興味は高い一方で、「相談費用が高そう」「金融商品をセールスされそう」など心理的な障壁があることもわかりました。年金問題などの影響で、今後はライフプランとともにマネープランをしっかりと立てることが求められ、「お金の専門家」のニーズは更に高まると思われます。

本件に関するお問い合わせ

株式会社オールアバウト 広報担当:清水
 TEL:03-5447-3770 FAX:03-5447-0034 e-mail: pr@im.allabout.co.jp

All About について <http://allabout.co.jp/>

株式会社リクルートとヤフー株式会社を大株主とする株式会社オールアバウトが運営、約 500 のテーマごとに、専門の知識や経験を持った人＝「ガイド」が、その分野に関する情報を提供する総合情報サイトです。2001 年 2 月 15 日にサイトオープンし、2007 年 7 月には月間のユニーク・ユーザ数が 1,660 万人を突破しました。独自記事による展開を中心にシステムだけでは到達しない満足度へ“人”が編集・ナビゲートするサービスです。

■調査概要

1. 調査対象：マクロミル登録モニター 30 歳～59 歳の会社員、年収 500 万円以上
2. 調査方法：非公開型インターネットアンケート
3. 調査期間：平成 20 年 5 月 28 日～平成 20 年 5 月 29 日
4. 有効回答者数：524 名
5. 属性：【性別】 男性 50.0%、女性 50.0%
 【年代】 30 代 33.6%、40 代 33.6%、50 代 32.8%
 【投資】 現在投資している 50.0%、現在投資していない 50.0%
6. 調査機関：マクロミル

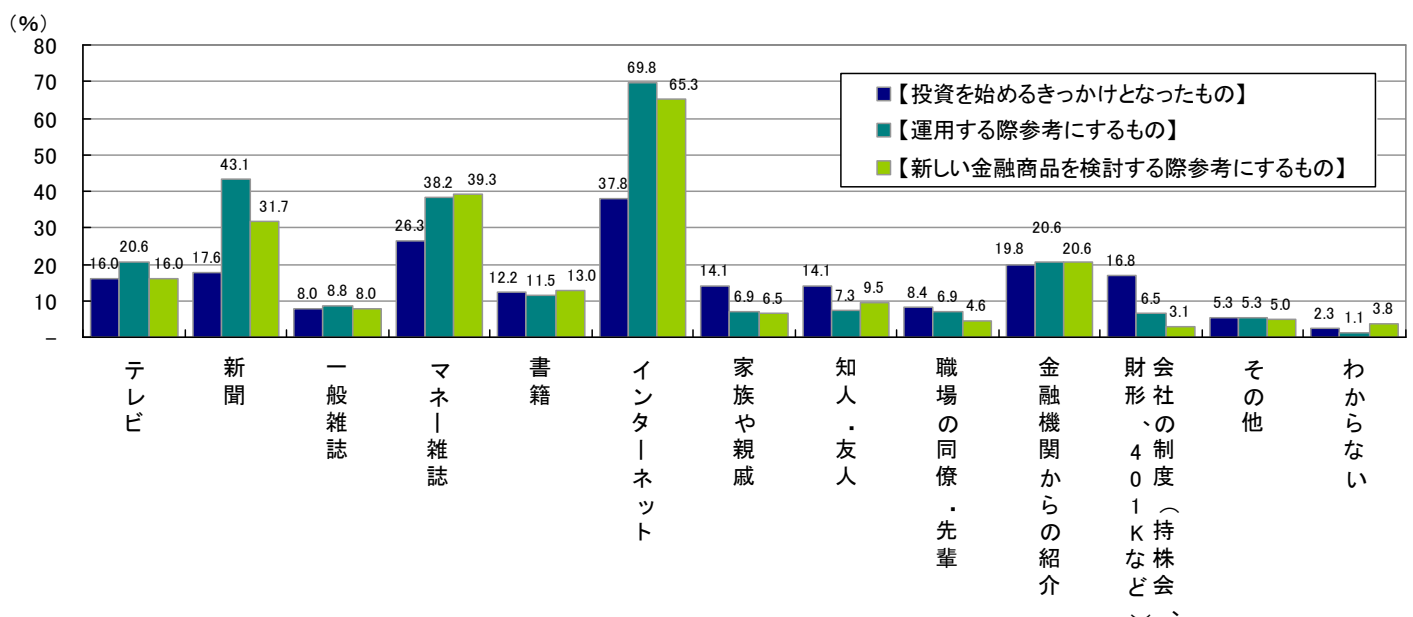
■調査結果データ

1. 投資の現状

1) 投資の情報源

現在、投資している人に対してシーン別の情報源を尋ねたところ、きっかけとしては「インターネット」(37.8%)や「マネー雑誌」(26.3%)が高い。また運用の際では「インターネット」(69.8%)が高く、「新聞」(43.1%)や「マネー雑誌」(38.2%)も高い。新しい金融商品を検討する際も「インターネット」が 65.3%、「マネー雑誌」は 39.3%と高い。運用や新しい金融商品を検討する際は「インターネット」が特に高い結果となった。

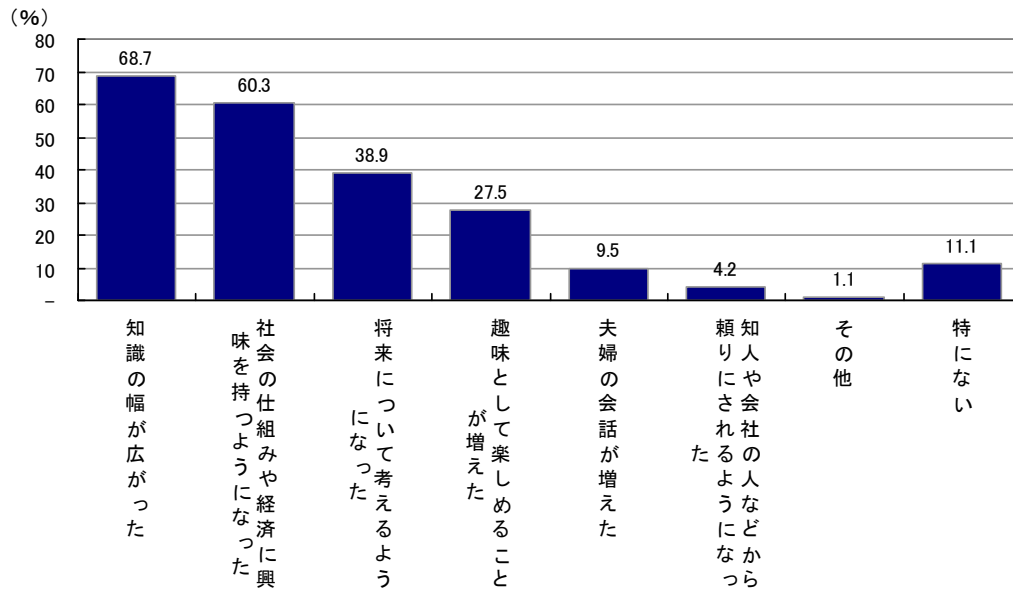
■投資の情報源（投資している人のみ n=262）



2) 投資をして良かったこと

投資している人に対して、投資をして利益以外に良かったことを聞いた。約7割が「知識の幅が広がった」と回答し、「社会の仕組みや経済に興味を持つようになった」(60.3%)も高い。投資は知的好奇心の向上につながると思われる。また「将来について考えるようになった」(38.9%)も高く、ライフプランにも影響すると考えられる。

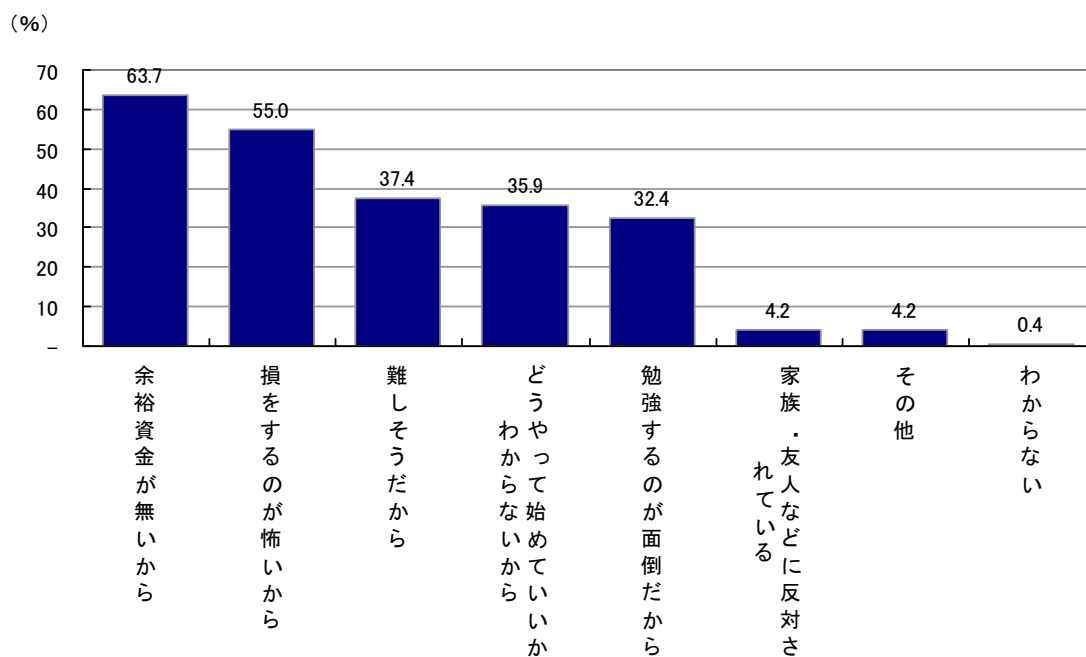
■ 投資をして良かったこと (投資している人のみ n=262)



3) 投資をしない理由

現在投資をしていない人に対して、しない理由を聞いた。「余裕資金が無い」と回答した人が6割と高く、「損をするのが怖い」が続く。

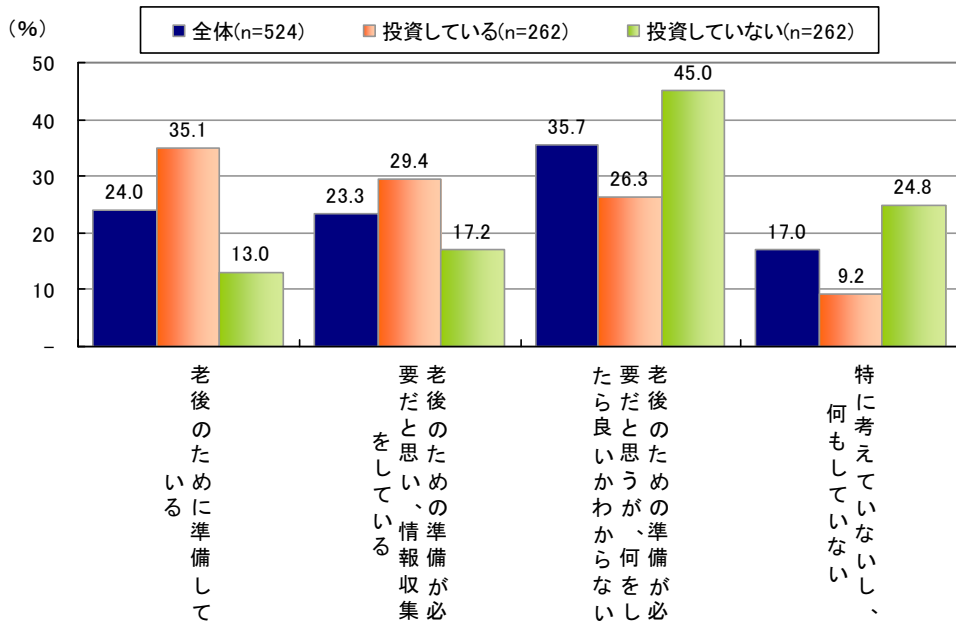
■ 投資をしない理由 (投資をしていない人のみ n=262)



4) 老後や退職後の準備について

老後や退職後の経済的な準備について尋ねたところ、「必要だと思うが何をしたいかわからない」という人が多い(35.7%)。特に投資をしていない人では45.0%と高くなっている。一方で投資をしている人では「準備をしている」という人が35.1%と最も多く、意識の高さが伺える。

■老後や退職後の準備について

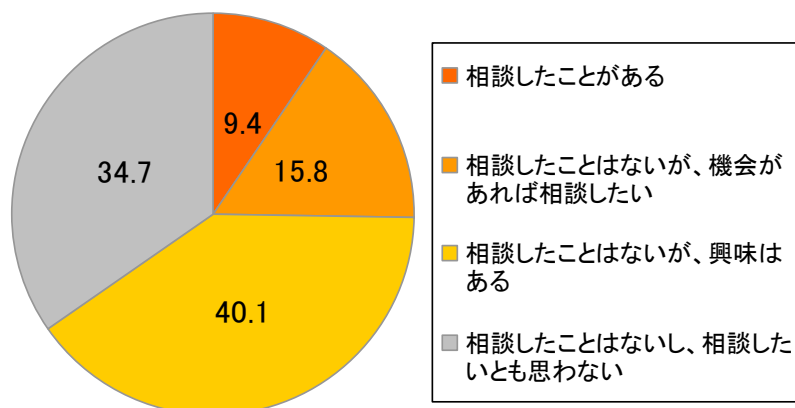


2. ファイナンシャルプランナーなどの「お金の専門家」について

1) 相談意向

ファイナンシャルプランナーなどの「お金の専門家」への相談意向を尋ねたところ、「相談したことはないが、興味はある」が4割、「相談したことはないが、機会があれば相談したい」(15.8%)も合計すると55.9%に興味があることがわかった。

■「お金の専門家」への相談意向 (n=524)

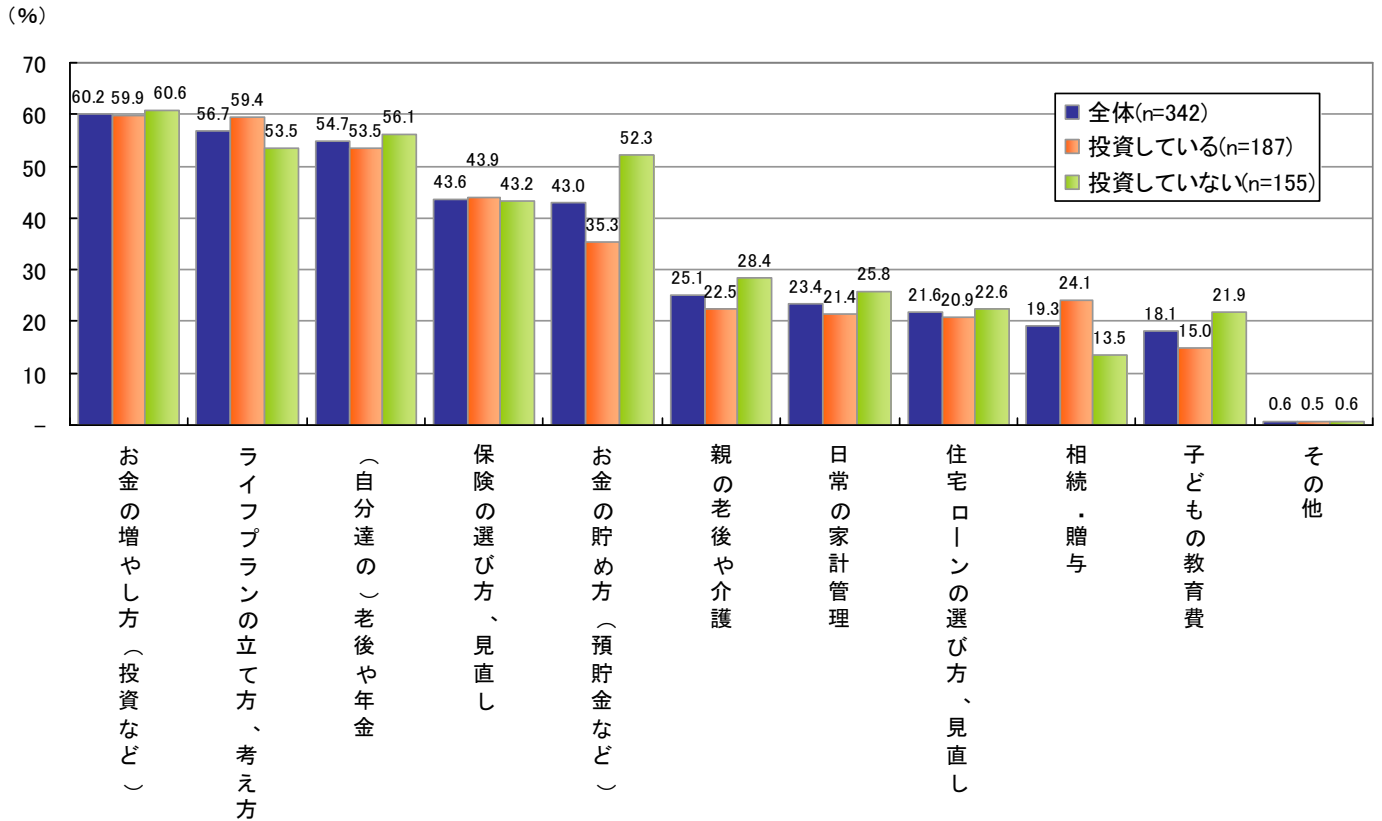


(%)

2) 相談したい内容

「お金の専門家」に相談したことがある人および、相談意向や興味のある人に、相談内容について尋ねたところ、「お金の増やし方(投資)」(60.2%)や「ライフプランの立て方」(56.7%)、「老後や年金」(54.7%)などが高くなっている。特に「お金の増やし方(投資)」は、投資していない人においても60.6%と高い。

■「お金の専門家」に相談したい内容（相談したことがある、機会があれば相談したい、興味はある人 のみ）



3) 相談していない理由

「お金の専門家」に相談をしたことがない人に、相談をしていない理由を尋ねたところ、「相談費用が高そう」「どこで相談したらいいかわからない」が高い。投資している人に比べ投資していない人では「どこで相談していいかわからない」(41.2%)、「何を相談したらいいかわからない」(30.9%)などが高い傾向がある。投資している人では、「インターネットや本、雑誌の情報で十分」(22.8%)が高くなっている。

■「お金の専門家」に相談していない理由（相談したことがない人のみ）

(%)

